

講義科目名称： 臨床教育学

授業コード：

英文科目名称： Study of Clinical Education

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
佐藤琢志			
木1			
添付ファイル			

科目の概要	<p>教育実践上の臨床的諸問題について、臨床心理学や教育学等からの学際的アプローチを行い解決を図ることが求められている。</p> <p>本授業では、臨床教育学という学際的な視点に立って、課題を抱える子どもや保護者そして教師に対する支援方法等について講義する。具体的には、教師が行う教育相談や、発達障がい・非行・いじめ・不登校などの教育実践上の臨床的諸問題について事例を通して講義を行う。</p>
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション 本科目の意義と目的、授業の進め方、及び臨床教育学の「臨床」の意味について学ぶ。</p> <p>第2回 臨床教育学のススメ 臨床教育学がどのような学問なのかについて学ぶ。</p> <p>第3回 教師が行う教育相談 教師が行う教育相談（教師カウンセラー）について学ぶ。</p> <p>第4回 専門機関が行う不登校児童生徒への支援 専門機関が行う不登校児童生徒への支援について学ぶ。</p> <p>第5回 発達障がいの子どもの支援 発達障がいの子どもの支援について学ぶ。</p> <p>第6回 教師の燃え尽きを防ぐ特別支援教育体制 教師の燃え尽きを防ぐ特別支援教育体制について学ぶ。</p> <p>第7回 親子関係の支援 親子関係の支援について学ぶ。</p> <p>第8回 「問題」児童生徒への支援 「問題」児童生徒への支援について学ぶ。</p> <p>第9回 学校におけるいじめ 学校におけるいじめ指導について学ぶ。</p> <p>第10回 学校における「非行少年」の指導 学校における「非行少年」の指導について学ぶ。</p> <p>第11回 モンゴル放牧文化における体罰 体罰（モンゴル放牧文化と日本文化の対比）について学ぶ。</p> <p>第12回 担任教師を亡くした子どもたちへの支援 担任教師を亡くした子どもたちへの支援について学ぶ。</p> <p>第13回 文献講読（1） 臨床教育学と関連する文献から実際に学ぶ。</p> <p>第14回 文献講読（2） 臨床教育学と関連する文献から実際に学ぶ。</p> <p>第15回 臨床教育学の方法論、まとめ 臨床教育学の方法論について学ぶ。また、全体のまとめを行う。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>1. 臨床教育学の考え方と視点について説明できる。</p> <p>2. 教育実践上の臨床的諸問題について論じることができる。</p>
授業の方法	基本的に講義形式で行う。
成績評価の方法	定期試験：60%、授業時の課題提出物：30%、授業への参加態度：10%
教科書・テキスト	佐々木正昭編著、「入門臨床教育学～課題を抱える子ども・親・教師への支援～」、学事出版、2013、1800円+税
参考書	河合隼雄、「臨床教育学入門」、岩波書店、1995、2000円+税
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<ul style="list-style-type: none"> ・参考書の他、教育実践上の臨床的諸問題に関する書籍等を読むこと。 ・新聞などで話題になっている教育臨床上の諸問題について、常に関心と注意を向け、自分なりの考えを準備しておくこと。
履修上の留意事項	特になし。

オフィスアワー	月～木曜日の昼休み（12：15～12：55）
担当教員への連絡方法	研究室：4号館602号室 メール：t-sato*osaka-ayama.ac.jp（*を@にかえる）
その他	